

1月25日、絵本と遊ぼう
 赤ちゃん広場が行われ、読
 み聞かせや童歌でスキンシ
 ャーを楽しみました。



赤ちゃんに絵本を
 読み聞かせ

2月4日、福寿野公民館
 で家内安全、無病息災を願
 い、伝統行事の八日念仏が
 行われました。



福寿野の八日念仏

2月10日、長沢子ども遊
 園が開催され、バナナボ
 ートに乗ったり、雪遊びを
 して冬を楽しみました。



地域の世代間交流で
 冬のレジャーを楽しむ

2月2日、ほほえみ保育
 園で節分にちなんで豆まき
 が行われ、福豆をまき、無
 病息災を願いました。



鬼は外、福は内

能登半島地震被災地支援募金

町では、令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、義援金を受付しています。その経過についてお知らせします。

募金額 671,859円 (1月31日現在)

児童・生徒の募金寄付

2月8日、舟形小・中学校の児童・生徒より、学校で集められた募金が町長に手渡されました。

小学校より 57,242円

中学校より 17,152円



この募金は、
 社会福祉協議会を
 通じて日本赤十字
 社に寄付します。



舟形町から応援職員を派遣

1月15日から19日まで、舟形町住民税務課危機管理室、主事笹夏門が、新潟県新潟市に派遣され、災害に係る住家の被害認定調査業務にあたりました。

▼問い合わせ／舟形町総務課総務係 ☎ (32) 2111

武道をとおり、相手への思いやりを学ぶ



2月7日、舟形中学校で保健体育の授業の一環として、武道の学習が1年生と2年生を対象に行われました。外部講師として琢誠真館の柴崎寛之さん(最上町)をはじめ他2名を招き、生徒たちは武道をとおりして相手への礼儀や思いやりを学びました。

武道の学習は必修科目となっており、舟形中学校では剣道を選択し、実際に竹刀を使った実技をします。木島幸紀さん(洲崎)は、「初めてする武道で、教えられたように竹刀を振るのは難しいけれど、面白かった」と話していました。

地域福祉活動の支援に関する連携協定締結式



1月25日、町と社会福祉法人舟和会(理事長庄司正宏さん)が、「地域福祉活動の支援に関する連携協定」を締結しました。町と舟和会は昭和49年の設立時から深く関わってきた経緯があり、密接に連携しながら福祉事業に取り組んできました。法人設立から約50年が経過する中、協力関係を再確認するため、協定を締結しました。

今後も、高齢者支援、障がい者支援、地域づくり支援、災害時の福祉支援などについて、相互に連携しながら地域福祉を推進していきます。

「みずき団子」づくり

1月13日、「みずき団子」づくりが長沢集学校で行われました。参加者全員で、鮮やかな色の団子を作り、大きなみずきに飾り付け、立派なみずき団子が完成しました。最後はみなさんで色鮮やかな「団子木」を囲んで、一緒に今年1年の五穀豊稔と無病息災を祈りました。



伝統の立志式

2月2日、舟形中学校で数え年の15歳を祝う立志式が行われました。保護者が見守る中で舟形中学校2年生34名一人ひとりが、漢字一文字に将来への決意や目標を込めた発表を行いました。



町制施行70周年記念 缶バッジを配布

1月29日、町制施行70周年を記念して作成した缶バッジが、ほほえみ保育園、舟形小学校、舟形中学校の児童、生徒、職員のみならずに配られました。この缶バッジは公募により決定したロゴマークが描かれ、町制施行70周年を町民のみならずと祝う目的で町が製作しました。



堀内橋の架け替え工事を見学

2月3日、堀内地内で堀内橋架け替え工事の見学会が開催され、堀内、洲崎のみなさんなど36名が参加し、工事の内容の説明を受けながら見学しました。参加者は、升川建設(株)から橋脚について、(株)伊藤組から橋台の説明を受け、興味深く見学していました。

